

昼生小だより

令和3年7月15日 No. 9

ピアノふれあいコンサート



7月14日に、4～6年生を対象に「ピアノふれあいコンサート」を開きました。これは、亀山市文化会館のアウトリーチで、今回はピアニストの^{あらい ゆかり}新居由佳梨さんをお招きしました。

会場が音楽室だったので、手が届くほどの近さで演奏を聴かせていただくことができました。細かくて繊細な指の動き、奏でられる音楽の迫力や優しさを間近で見聞きした子どもたちは、その素晴らしさに驚いたり、感じ入ったりしている様子でした。曲名を告げられずに演奏を聴いて、どんな感じがしたか、どんなイメージが湧いたかを発表できた子もいました。

また、ピアノについていろいろ教えていただきました。感染症拡大防止のため、みんながピアノの周りに集まることができないので、ピアノの中を大型テレビに映して見せてもいただきました。ピアノは楽器の王様と呼ばれていること、鍵盤を押すと音の出る仕組み、ペダルを踏んだときの効果などを知ることができました。

これから、最後に演奏していただいた曲のイメージを絵や文に書いて新居さんに届けることになっています。7月23日に亀山市文化会館で行われるコンサートの演奏時にそれが映し出されるような演出があると聞いています。お時間があればお出かけください。



プール水泳終了

7月13日、今年度のプール水泳を無事終了しました。感染症拡大防止のため、思いっきりはしゃいだり、声を出

したりということはできませんでしたが、思い思いに楽しむことができました。保護者の皆様には、様々な面でご協力をいただきありがとうございました。



子どもたちに読書の習慣を！



皆さんは、どんな分野の本が好きですか。最近読んだ本は何ですか。
今、読みかけの本がありますか。

本校では、子どもたちにたくさん本を読んでもらおうと様々な取り組みをしています。毎週火曜日の「朝の読書タイム」、月1回程度の「わくわく読み聞かせ」、10分間読書ウィーク（通称「10読」）などです。また、学校図書館では、週1回来てくださる学校図書館司書やボランティアの方が読書環境を整えてくださっています。図書委員会が企画する図書館祭り等のお手伝いもしていただいています。

5月24～28日に「10読」に取り組みました。これは「健康チャレンジ」と期間を重ねてあり、普段、ゲームやテレビ等に費やしている時間を読書にあてようというものです。取組後の振り返りをいくつか紹介します。

- ・自分から読みたい本を選び、たくさん読むことができました。
- ・10分間読書のおかげでいろんな本が読めたから、読書が好きになったのでこれからいっぱい本を読んでいきたいです。
- ・文が多い本をたくさん読めました。
- ・赤毛のアンは何回も読んでいるけれどおもしろいです。
- ・物語や古文にもふれられて楽しかった。
- ・小説（長い文）をしっかりと読めたし、何回も何回も見ても、目線を変えて読むと楽しく読書ができました。
- ・健康チャレンジで、ゲーテレなしにして時間が出来たのでちょうど良かったです。
- ・普段読まない小説を読めたので良かったです。
- ・「かめやま読書チャレンジ」（注1）の本がたくさん読めました。
- ・たくさん本を読めたので、読む力が増えて良かったです。

同じ本を何回読んでも面白いと感じたり、目線を変えて読むと楽しいと思えたりする子どもたちって、素晴らしいなと思いました。

読書は、人を様々な場所や場面に連れて行ってくれます。そして、いろいろな体験をさせてくれます。コミュニケーションに必要な言語力も身に付きます。

もうすぐ長い夏休みが始まります。読書でうち時間を楽しんでみてはいかがでしょうか。



（注1）令和元年11月から始まった亀山市の取り組みです。低・中・高学年別にリーフレットが配付されています。リーフレットには学年に応じたおすすめの本が30冊載っており、読み終わったらシールを貼っていきます。全部貼れたら、認定証がもらえます。